

校長のつぶやきⅡ

校長室便り 第56号

令和3年2月3日 山内

○節分 - 124年ぶりの2月2日 「豆まき」より「恵方巻き」 -



節分といえば豆まきですが、最近では恵方巻の日としても意識されるようになりました。そして、「節分といえば2月3日」と思っていた人がほとんどのはず。ところが今年の節分は、1897年(明治30)年以来124年ぶりに例年より1日早い2月2日となりました。

節分は季節を分けるという意味の雑節で、本来は各季節の始まりである立春・立夏・立秋・立冬の前日それぞれを指すはず。雑節というのは日本人の生活や文化、季節の移り変わりを基に生まれた日本独自の「特別な日」のことです。二十四節気とも違いますし、七夕等五節句のように中国から伝わったものでもありません。おもに農作業に合わせた季節、気候が移り変わる時季の目安とされてきました。

今年の「恵方」は南南東だそうです。昨日は恵方巻きを食べた人、豆まきをした人様々だと思えますが、コロナの終息を願う人が多くいたことは間違いないと思います。今日は二十四節気の一つ「立春」ですが、城山は一面の雪、春はまだまだというところ。春はまだまだというところ。春はまだまだというところ。

節分は季節を分けるという意味の雑節で、本来は各季節の始まりである立春・立夏・立秋・立冬の前日それぞれを指すはず。雑節というのは日本人の生活や文化、季節の移り変わりを基に生まれた日本独自の「特別な日」のことです。二十四節気とも違いますし、七夕等五節句のように中国から伝わったものでもありません。おもに農作業に合わせた季節、気候が移り変わる時季の目安とされてきました。

○部活動等制約 - 宮城県おととい、きのうと感染者一ケタ台 -

昨日、一昨日と本当に久しぶりに宮城県内の感染者数は一ケタになりましたが、東部北の高校で臨時休校となるなど、まだまだ気は抜けません。今回は県からの指導もあって、部活動等が制約されることになりました。さらに先を読んで、高校入試期間中の宿題等についても今日保護者の皆様へ文書やメールでお知らせしました。全国一斉の臨時休校からもうすぐ一年ですが、終息までもう少し我慢してください。3年生は今日で考査が終わったものの卒業までの1ヶ月を慎重に過ごしてください。

○先輩の姿 - 企業説明会でプレゼン -

昨日、2年生を対象に「出張企業説明会」が本校で行われました。数社がプレゼンを行ったのですが、ある企業の代表者がちょうど一年前に岩高を卒業した先輩でした。様々な学校行事等でも活躍した先輩だったので覚えている2年生(当時は1年生)もいたかと思いますが、驚いたのはその変貌ぶりです。

在校中は容儀指導等で先生方に注意されることも少なくなく、やんちゃで明るい典型的な岩高男子だったのですが、別人のように身だしなみもしっかりしていて、何よりもパワーポイントを自由自在に操り後輩達に分かりやすくしかもパワフルに説明する姿に圧倒されました。同じ企業の先輩もいたので、校長室や職員室での会話はかないませんでした。本当に立派な姿でした。さすが岩高の先輩です。